

なかよし1組（知的）特別支援学級 自立活動学習指導案

指導者 庄司 歩
学習支援員 生稲 裕子

1. 単元名 なかよしすごろくをしよう

2. 単元について

(1) 子どもの実態（1年生5名、2年生2名 計7名）

本学級は、1、2年生（低学年）の集団である。同じ学年の子どもが集まっているため、小集団で学習や活動をする機会がある。なかでも友達と楽しさを共有しながらかかわりをもつ活動として「フルーツバスケット」や「だるまさんが転んだ」などの集団での活動を行っている。しかし、このような活動の場面で、自分の思いだけで友達と接したり、周囲の状況を考えずに行動したり、相手への配慮の欠ける言葉がけからトラブルに発展することが少なくない。また、他者とかわることが好きで活動的な子どもが多いが、新しい活動の場面では不安から活動を躊躇する子ども、順番が待てず自己中心的になる子どもがいるなど、いろいろな学習場面を捉えて適切なコミュニケーション能力を身につけていくことが必要であると考え。そこで、ペアや小グループで協力しながらゲームを作り、遊ぶ活動を通して、友達と楽しさを共有しながらの友好的なかかわり方を学べるようにしたいと考える。

(2) 指導観

- ① 子どもが楽しんで活動に取り組みながら、自己表出や他者理解へとつなげることができる課題や教材・教具を工夫する。

すごろくは、ルールや課題に沿って活動することが重要で、仲間との協力・ペアやグループごとの競争を通して、集団活動の楽しさや勝敗での悔しさなどを実感できる活動である。また、「さいころを振って出た目の数だけ進み、止まったマスの問題に答えながらゴールに向かって進んでいく」というわかりやすいルールである。本学級にはすごろくを体験したことのある子どももいるが、活動のおもしろさを知ったりルールの共通理解を図ったりするためにもみんなですごろくの体験をする時間を十分とる。

本単元のすごろくは、『なかよしすごろく』とし、自分のことを表現する・伝える課題や、相互交渉する課題を用意する。自己を表現することは、同時に聞き手の子どもにとっては、（話している）友達のことを新たに知ることとなる。「〇〇さんの誕生日は、私と同じ△月なんだ。」と友達についてより関心をもつきっかけとなる。更に、初めて知った友達のことを発表する場を設定し、全体で情報を共有しながら、友達に関心を持ち自分と比較することなどを通して他者理解へとつなげたいと考える。

一方で、すごろくには「1回休み」や「振り出しに戻る」などの課題があることで、より競争意識をもって取り組むおもしろさがある。しかし、本単元では『なかよしすごろく』として協力し合い、他者を知る・理解することを目的とした活動に重きを置くため、競争意識が盛り上がる課題やすごろくのゴールをなくした。その代わりに、自分のことを話したり友達について知ることができたりする問題や共に活動できる問題（チャレンジ問題）を中心とし、自己表出や他者理解へとつながるようにする。

また、子どもの中には自分の意見を言うことが苦手な子どももいるので、【パスは1回までできる】などオリジナルのルールをみんなで作りながら活動を広げていきたい。

- ② 互いに協力しながら活動ができるように意図的にペアやグループを構成する。

日常生活の中で子ども同士のかかわりや個々の特性を考慮して、ペアやグループを構成する。例えば、平仮名の表記が苦手な子どもと表記が比較的得意な子ども、新しい活動に躊躇しがちな子どもと活動に積極的に参加する子どもを組むようにする。本単元では、そのペアやグループでの活動を制作の場面から活動の場面まで継続する。互いに助け合うかかわり方や言葉がけ等を学ぶとともに、信頼関係を築きながら活動に取り組むことで、「教えてもらってできた。」「アドバイスをしたら感謝された。」といった達成感や自己有用感をもつことができるようにする。

すごろくのシート（問題）作成の場面では、ペアやグループごとに画用紙の色を変えて問題作りをする。すごろく体験では、作成した問題を教室の床につなげてすごろくを作る。ペアやグループごとに色を変えることで、自分たちが作った問題だということが一目でわかり、さらに愛着がもて安心して活動に取り組むことができると考える。

- ③ 活動の順番や役割、ルール等を文字や絵カードで示したり、活動ごとに場所を分けたりして、活動の

見通しがもてるようにする。

子どもたちは、初めての活動や苦手な活動に対し不安をもち消極的になることがある。そこで見通しがもてるよう学習の始めに本時の流れを提示する。「①話を聞く②ペアで活動する③振り返り」のように活動の流れを毎時間同じにすることで安心して取り組めるようにする。その他、平仮名の読みに課題のある子どもがいることから、文字や絵カードで示したり、個別に声をかけたりしてみんなが理解できるようにする。また、話を聞く場所と活動する場所を分けたり、すごろくの順番を待つ場所を用意したりすることで気持ちの切り替えがしやすいようにする。

- ④ 子どもが活動のめあてや内容を理解しやすいように言葉や絵カード、ICT機器を活用する。

本単元では、ペアの友達への言葉がけやよりよいかかわり、他のペア・グループへの応援や称賛をすることで、学級全体でよりよいコミュニケーションに向けた言動ができるようにすることを目標としている。子どもたちがめざす姿についてイメージがもてるように言葉や絵カード等で明示するほか、よい姿をその都度言葉で称賛したり、全体に紹介したりする。その他、よい姿や場面をタブレット端末で撮影し、振り返りの場で紹介する。映像で提示することで、視覚的により具体的でわかりやすくなるとともに、みんなで称賛する機会をもつことができると考える。

3. 単元の目標

- 【2心理的な安定 (2)】 ○活動の見通しをもち、すごろくを楽しむことができる。
 【3人間関係の形成 (4)】 ○ルールや順番を守り、友達と協力しながら活動することができる。
 【6コミュニケーション (5)】 ○相手を意識し、場に応じた行動や発言をすることができる。

4. 全体指導計画 (7時間扱い)

時	○本時の目標 ・活動内容 【評価】(方法)	指導形態
1	○すごろくの遊び方を知り、今後の見通しをもつことができる。 ・モデルのすごろくですごろく体験をしながら、遊び方やルールを知ったり、確認をしたりする。 ・ルールや準備するものを話し合い、すごろくを作ること、作ったもので遊ぶことの計画を立てる。 【2心理的な安定 (2)】 ・活動の見通しをもち、すごろくを楽しむことができたか (観察)	集団
2 ・ 3 ・ 4	○友達と協力してすごろく盤 (シート) に問題を作ることができる。 ・友達について知りたいことや、自分の教えたいことを考え問題を考える。 ・他の人に協力をしてもらおうような問題を、友達と相談しながら考える。 ・平仮名表を見たり、友達と教え合ったりして、問題を書く。 ・問題を実際に答えたり、やってみたりして、内容を工夫する。 ・友達やペア・グループの良いところを発表したり、称賛したりする。 【3人間関係の形成 (4)】 ・ルールや順番を守り、友達と協力しながら活動することができたか。(観察・シート) 【6コミュニケーション (5)】 ・相手を意識し、場に応じた行動や発言をすることができたか。(観察)	ペア・ グループ
5 ・ ⑥ (本 時) ・ 7	○ルールを守り、友達と協力してすごろくをすることができる。 ・ルールを確認し守りながらみんなですごろくをする。 ・友達やペア・グループの良いところを発表したり、称賛したりする。 ・今後の活動 (他学級とのすごろく遊び) に見通しや期待をもつ。 【2心理的な安定 (2)】 ・活動の見通しをもち、すごろくを楽しむことができたか。(観察) 【3人間関係の形成 (4)】 ・ルールや順番を守り、友達と協力しながら活動することができたか。(観察) 【6コミュニケーション (5)】 ・相手を意識し、場に応じた行動や発言をすることができたか。(観察)	集団 ペア・ グループ

5. 本時の指導 (6/7)

- (1) 目標【3人間関係の形成 (4)】 ルールや順番を守り、友達と協力しながら活動することができる。
 【6コミュニケーション (5)】 相手を意識し、場に応じた行動や発言をすることができる。

(2) 展開

時配	学習内容と活動 ◎教師の発問 ・子どもの反応	○教師の支援 ☆評価 (方法)						資料
		A (1年)	B (2年)	C (1年)	D (1年)	E (1年)	F (1年)	
2分	1 学習のめあてを確認する。	○黒板の前にペア・グループで着席し、話を聞きやすい配置にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ルールをまもり、ともだちときょうりよくして なかよしすごろくをしよう。</div>						
5分	2 なかよしすごろくをするための工夫を話し合う。 ・順番を守る。 ・役割をがんばる。 ・困っていたら教えてあげる。 ・けんかをしない。	○前時までの友達とよい関わり方ができている様子をモニターで紹介しながら、友達との関わり方について確認する。 ○相手への優しい言葉がけはふわふわ言葉表を参考に促す。 ○ことばや文字、絵カードを使ってルールの確認をわかりやすくする。 ○役割(さいころ係・コマ進め係・問題読み係)の分担を明記し、活動に円滑に取り組めるよう支援する。						・タブレット 端末 ・モニター ・ふわふわ言葉表 ・ルール表 ・役割表
6分	3 学習の予定を知り、本時の見通しをもつ。 (1) あそびかたをかくにんする。 (2) じゅんばんをきめる。 (3) すごろくをする。 (4) ふりかえりをする。	○本時の学習の見通しがもてるように、本時の流れを言葉とイラストで提示する。 ○遊び方を1つずつ確かめる。理解しやすいように、文字や絵カードを黒板に掲示する。 ○児童が時間を意識できるように、タイマーを用いる。 ○活動のペアで決めたチーム名を使用することで、愛着や所属感をもって活動に参加できるようにする。 ○すごろくの順番はゲーム性のあるくじ引きで決め、楽しい雰囲気の中で活動を始められるようにする。 ○めあて(ルールを守る・協力する)に沿ってすごろくをする中で、「助けてもらった」「優しくしてもらった」場面や、友達のよいところについて、振り返りで発表することを伝える。						・本時の流れ ・くじ引き ・タイマー ・なかよしカード
25分	4 すごろくをする。 ・僕がさいころを振る役だね。 ・いくつが出たか数えよう。 ・なんて書いてあるか一緒に読もう。 ・チャレンジ問題だ。みんなで答えよう。 ・質問が分からない時は、「パス」ができるね。パスは、一	○個々が役割をもつことで児童が主体的に活動できるようにする。先ほど確認した役割表(さいころ係、コマ進め係、問題読み係)を提示するほか、首から下げる役割カードを用意し自分や友達の役割が一目でわかるようにする。 ○友達の話をよく聞いたり、温かい言葉をかけたり、協力したりする姿などが見られたら、その場で称賛し全体に紹介する。 ○チャレンジ問題(全員が答える問題)では、児童が円滑に答えたり、楽しく活動したりできるように教師も子どもと一緒にチームを応援したり、拍手を贈ったりして楽しい雰囲気作りをする。 ○めあてに沿った活動や関わりができている子どもや場面を称賛する。						・順番表 ・役割分担表 ・役割カード ・さいころ ・すごろくのシート ・タイマー ・チームのこま

	<p>人1回までだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの好きな食べ物は僕と一緒にだ。 ・別のチームと同じ所に止まったから同じ質問だ。すぐに答えられるよ。 	<p>AB〇〇〇チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ○B児が平仮名の読みが難しいA児を助ける場面を取り上げ称賛する。 ○A児が答えられずに困っていたらそばで言葉を添えたり、パスを促したりして支援する。 ○B児が他のペアやグループの話を静かに聞けていたらそばで称賛する。 	<p>CDE□□□チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平仮名の読みが難しいD児を助ける場面を取り上げ称賛する。 ○E児が戸惑い黙ってしまった時、C児やD児が助言する場面を取り上げ称賛し、全体に紹介する。 ○E児が答えられずに困っていたらそばで言葉を添えたり、パスを促したりして支援する。 ○C児D児の頑張る姿や友達を応援する姿を称賛する。 	<p>FG△△△チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ○F児が離席したり、順番を守れなかったりする場合、表と一緒に確認したり、そばで声をかけたりする。 ○G児がF児を応援したり認めたりする場面を取り上げ、その場で称賛する。 ○G児が答えられずに困っていたらそばで言葉を添えたり、パスを促したりして支援する。 				
		<p>☆ルールや順番を守り、友達と協力しながら活動することができたか。(観察)</p> <p>☆相手を意識し、場に応じた行動や発言をすることができたか。(観察)</p>						
5分	<p>5 振り返りをする。</p> <p>めあてについて振り返りをする。</p> <p>◎ルールを守って、友達と協力してすごろくをすることができましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんが手伝ってくれた。 ・順番を守ってできた。 ・〇〇さんの好きな動物がわかったよ。 	<p>○互いの意見が聞きやすいよう、全員の顔が見えるような椅子の配置をする。</p> <p>○めあて(ルールを守る・協力する)に対し自己評価できるよう挙手で促す。教師が黒板の項目ごとに花丸を付けて全体を評価・称賛する。</p> <p>○友達から助けってもらったり、優しくしてもらったりした場面やその時の気持ち、友達のよいところについて発表を促したり、言葉を添えたりして発表へとつなげるようにする。</p> <p>○子どもから出なかった場面について、付け加えて評価・称賛をする。</p>	<p>○自分の考 えをもち、 挙手して 発表でき たことを 認める。</p>	<p>○自分の考 えをもち、 挙手して 発表でき たことを 認める。</p>	<p>○自分の考 えを挙手 等で意思 表示でき たことを 認める。</p>	<p>○友達の話を最後まで聞くよう促す。</p>	<p>○自分の考 えをもち、 挙手して 発表でき たことを 認める。</p>	<p>・花丸カード</p>
2分	<p>6 次時の予定を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のクラスの友達とすごろくをするのが楽しみだな。 	<p>○次回はなかよしの他クラスの友達を招待してすごろくをすることを確認し、次時への期待がもてるようにする。</p>						

